

令和 2 年度中学生チャレンジテスト


第 3 学年 国 語

注 意

- 1 調査問題は、1ページから29ページまであります。先生の合図があるまで、調査問題を開かないでください。
- 2 解答はすべて解答用紙⑥（国語）に記入してください。
- 3 解答は、HBまたはBの黒鉛筆（シャープペンシルも可）を使い、濃く、はっきりと書いてください。また、消すときは消しゴムできれいに消してください。
- 4 解答を選択肢から選ぶ問題は、解答用紙のマーク欄を黒く塗りつぶしてください。
- 5 解答を記述する問題は、指示された解答欄に記入してください。また、解答欄からはみ出さないように書いてください。
- 6 解答用紙は、オモテ、ウラがあります。
- 7 解答用紙の「生徒記入欄」に、組、出席番号を記入し、マーク欄を黒く塗りつぶしてください。
- 8 調査時間は45分です。

問題は、次のページから始まります。

☐ 次の1〜4の問いに答えなさい。

1 書写の時間に「雲」という字を次のように行書で書きました。これを見て、あとのア〜エのうち、で囲まれた部分①、②の特徴の組み合わせとして最も適しているものを、一つ選びなさい。



- | | | | |
|---|-------|--|-------|
| ア | 筆順の変化 | | 点画の連続 |
| イ | 点画の省略 | | 筆順の変化 |
| ウ | 点画の省略 | | 点画の連続 |
| エ | 筆順の変化 | | 点画の省略 |

2 次の①～③の文中の——線部の漢字の正しい読みを、ひらがなでいねいに書きなさい。

① 景色を眺める。

② 伝統文化を継承する。

③ 繊細なつくりの工芸品に驚く。

3 次の①～③の文中の——線部のカタカナを文の内容に合うように漢字に直し、楷書かいしよでいねいに書きなさい。

① 着物のオビを締める。

② かべをホシユウする。

③ 研究のリョウイキを広げる。

4 次の文中の（ ）には、——線部の言葉の対義語が入ります。あとのア～エのうち、最も適しているものを一つ選びなさい。

理性をもって行動し、（ ）に流されてはいけない。

- ア 意見
- イ 情報
- ウ 知性
- エ 感情

問題は、次のページに続きます。

【二】 青木さんと市川さんは、水族館で職場体験を行うこととなり、事前に水族館で働いている大浜さんにインタビューをしました。次の【インタビュー】を読んで、あとの問いに答えなさい。

【インタビュー】

市川さん 職場体験でお世話になる市川です。職場体験に向けて水族館の仕事について知りたいと考え、今日こちらに^①来ました。よろしくお願いします。

青木さん 青木です。今回の職場体験でたくさん学びたいです。よろしくお願いします。

大浜さん 大浜です。よろしくお願いします。

市川さん それでは早速質問をさせていただきます。

大浜さん 海の生き物が大好きだったからです。海で生き物に出会った瞬間の喜びや、生態を調べるときの楽しさは格別です。そのようなことから、大好きな海の生き物と一緒にいられる飼育員の仕事を志望したのです。

市川さん 飼育員とおっしゃいましたが、毎日のような仕事をされているのですか。

大浜さん 主に水槽の掃除とえさやりをしています。えさの種類や回数は生き物によって注意が必要です。えさをやる際には食べ方や体色、鱗などを観察し、生き物の体調の変化を察知しています。病気の場合は治療をしますし、飼育方法についても獣医師と共に研究を重ねています。飼育員は生き物の命を預かる仕事なので責任重大です。他にも生き物の展示、ショーやふれあい体験などの企画^②を考えることもあります。

市川さん なるほど、いろいろな仕事があるんですね。そのようなお仕事をするなかで、大浜さんが特にやりがいを感じるのとはどのようなときですか。

大浜さん お客様に生き物の魅力が伝わったときです。例えば、私たちの水族館では飼育員がウミガメにえさをやる

A

様子をお客様が見学できるように「ウミガメお食事タイム」を実施しています。ウミガメを間近で見たお客様は「目がかわいい!」とか「甲羅こうらが大きい!」などと言われます。そのようなときはうれしいです。

青木さん

私も小さいころ、こちらの水族館の「ウミガメお食事タイム」を見学したことがあります。

水槽越しで見るときは異なる迫力があり、とても驚きました。間近で見ると、生き物の魅力がより伝わりますね。

大浜さん

そうなのです。それに加えて、生き物の魅力を伝える際には飼育員の説明も重要です。例えば、ウミガメの中には、毎年一万六千キロ以上移動するものがあります。地球一周が約四万キロなので二年半で地球一周をしている計算になり……、というようなお話をすると、お客様は感心されます。

市川さん

そのようなお話を聞くと、ウミガメの力強さが伝わってきます。このウミガメは私がまだ見たことがない外国の広い海を旅してきたのか、たくましいなあ、すごいなあって。

大浜さん

しかし調査の結果、ウミガメの産卵数は年々減少しており、絶滅の危険性が高いといわれています。そこでウミガメの調査研究はもちろん、産卵場所である砂浜の保全や整備などを進める必要があるのです。このようなお話をしたときは、お客様は特に関心をもって聞いてくださいます。

市川さん

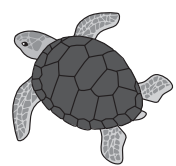
ウミガメの危機には心が痛みます。それと同時に私もウミガメの保護のために何かしたいと思います。

大浜さん

その言葉はともうれしいです。今の市川さんのように、お客様それぞれが生き物の魅力を知り、保護について考えてくださるようになれば、生き物を取り巻く環境も少しずつ良くなっていくと思います。だから、生き物が置かれている状況や課題についてお伝えすることも、飼育員の大切な役割だと私は考えています。

青木さん

なるほど。お話を聞いたことで、水族館の仕事へのあこがれがますます強くなりました。前に読んだ本には、水族館で仕事をするためには生き物に関する知識を多く学んでおくとよい、とありました。それ以外に



〔ウミガメ〕

水族館で働く上で必要なことがあれば教えていただけますか。

大浜さん

そうですね。生き物に関する知識も大切ですが、自分の考えや思いを人に伝える力も大切です。水族館では職員同士で話し合い協力しながら飼育にあたりますし、先にお話をしたように飼育員にはお客様に生き物の魅力や、自然の大切さをお伝えする役割があります。ですから、今回の職場体験で青木さんと市川さんにはえさの準備や掃除そとうじだけではなく、水族館にいる生き物の紹介をしてもらおうと考えているのです。

市川さん

そのような機会をいただけるのですか。緊張きんちやうするけれど、とても楽しみです。

青木さん

私はヒトデが好きなので、できればヒトデの紹介がしたいです。

大浜さん

そうですね、私も楽しみです。一緒に頑張りましょう。

1 【インタビュー】中の——線部①の「来ました」の部分で、適切な謙譲語けんじょうごに直しなさい。

2 【インタビュー】中の

A

 に入る適切な質問を、一文で書きなさい。

3 【インタビュー】中の——線部②について、(1)、(2)の問いに答えなさい。

(1) 次のア～エのうち市川さんの発言の意図として最も適しているものを、一つ選びなさい。

- ア 大浜さんの発言を確かめ、話の流れを元に戻そうとした。
- イ 大浜さんの発言を受けて、自分の意見を中心に述べようとした。
- ウ 大浜さんの発言を確かめ、そう考える理由を詳しく聞こうとした。
- エ 大浜さんの発言を受けて、話の内容をさらに深めようとした。

(2) 次は大浜さんの仕事のやりがいについて市川さんが書いた【メモの一部】です。【メモの一部】中の **B** は、大浜さんがやりがいを感じている二つの内容が書かれています。あなたならどのように書きますか。 **B** に入る適切な二つの内容を、【インタビュー】中の言葉を使って二十字以上、四十字以内で書きなさい。

大浜さんの

仕事のやりがい

みりよく
魅力が伝わったとき うれしい

・お食事タイム … 間近で見て かわいい

・ウミガメの生態 … 感心して すごい

・絶滅の危険性 … 保護のために何かしたい
とてもうれしい

環境が良くなっていく

— 感想 —

大浜さんにとって仕事は、単に生き物を見せて知識を伝えるだけではない。お客様が

B

ことに大浜さんはやりがいを感じているのだと思った。

4 【インタビュー】中において青木さんは、質問をする際にどのようなことを心がけていますか。次のア～エのうち、

最も適しているものを一つ選びなさい。

- ア 相手の話を理解するために、自分の経験や知識をふまえて質問している。
- イ 相手の意見を引き出すために、他の水族館との違いにも触れて質問している。
- ウ 相手の理解を得るために、重要な言葉を何度も繰り返し返して質問している。
- エ 相手の気持ちを引き出すために、自分の気持ちは一切話さないで質問している。

問題は、次のページに続きます。

5

職場体験学習において小学二年生の児童にマンジュウヒトデの紹介をすることになった青木さんは、リハーサルをしました。あなたなら青木さんにどのようなアドバイスをしますか。【アドバイス】中の に入る内容を、次の条件に従って書きなさい。

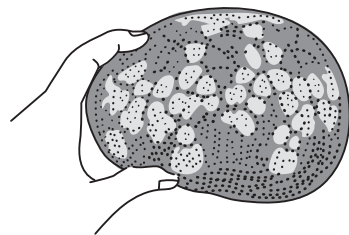
条件1 【青木さんがリハーサルで話した内容】に対して書くこと。

条件2 問題点を一つ指摘した上で、どのように改善をすればよいかを具体例をあげて書くこと。

条件3 「話す相手は小学二年生なので、」に続けて、七十字以上、百字以内で実際に話すように書くこと。

【青木さんがリハーサルで話した内容】

こんにちは。今からみなさんに、こちらのヒトデの紹介をします。ヒトデといえば、星形です。けれどこちらは、まるでマンジュウのよう。そこでついた名前はマンジュウヒトデ。体表には突起が多数見受けられます。触ると徐々に硬さが変化し柔らかくなります。みなさんも触ってみませんか。驚きの感触ですよ。



〔マンジュウヒトデ〕

【アドバイス】

話す相手は小学二年生なので、





次の文章を読んで、あとの問いに答えなさい。

著作権者への配慮から掲載を控えております。

著作権者への配慮から掲載を控えております。

(湯川 秀樹 『宇宙と人間 七つのなぞ』による)

1 本文中の A、B に入る言葉として最も適しているものを、次のア～エからそれぞれ一つずつ
選びなさい。

ア なぜなら

イ しかし

ウ そのうえ

エ だから

2 本文中の——線部について、「二重の意味をもっています」とはどういうことですか。本文中の言葉を使って三
十字以上、五十字以内で書きなさい。

3 次の文章は本文中の「ア」～「エ」のいずれかに入ります。入るところとして最も適しているものを、一つ選びなさい。

これはどちらも一面の真理ですね。自分に引き比べて他人のことがわかる、と同時に他人に引き比べて自分がわかるという両面があるわけです。

4 次の文章は、本文中で筆者が述べている内容の一部をまとめたものです。

あ、

に当てはまる適切な言葉を、それぞれ本文中の言葉を使って書きなさい。ただし、
あ は十字以上、十五字以内、
い は二十字以上、二十五字以内で書くこと。

人間は、自他を比べることで、他人のことがわかり、自分のこともわかるようになってくる。そして、自分と他者は別のものであると意識し、一般的にはそれが自覚とされている。しかし、人間がエゴイズムをこえた自覚に到達できるようになるには、他者との関係において、
あ だけでなく、
い が大切である。

四 図書委員の丸橋さんは、心に残ったことや感じたことを書く【読書記録ノート】を作って楽しんでいます。次の丸橋さんの【読んだ本の一節】と【読書記録ノート】を読んで、あとの問いに答えなさい。

【読んだ本の一節】

著作権者への配慮から掲載を控えております。

（大岡信『人生の果樹園にて』による）

【読書記録ノート】

題名		読書期間		作者・筆者名	
人生の果樹園にて		9/6 (金) ~ 9/19 (木)		大岡 信 (詩人)	
メモ・感想		満足度		5	
メモ		④		3	
<p>○江戸時代は大半が農民、一生土地を離れない</p> <p>・村という「密閉空間」：<input type="text" value="A"/></p> <p>・ぼかりと空いた穴：「まろうど」が外界から持ってくる世間の話</p> <p>・おとぎ話：子どもたちも日常生活では絶対出会わないものを享受</p> <p>・文学の根源：外界からの驚異的な話、未知のものへの好奇心</p> <p>現代の文学にも、根源には好奇心が生きている</p>		③		2	
<p>気になる表現！</p> <p>・「宇治拾遺物語」</p> <p>・「わらしべ長者」「雀の恩返し」</p> <p>などの話が収められている</p>		②		1	
感想		①		言葉・調べたこと	
<p>おもしろい小説やドラマも、日常では出会えないようなワクワクやドキドキに満ちているので、私を知らない世界に連れ出してくれる「まろうど」なのだ、と思った。</p>					

1 【読んだ本の一節】 中の——線部①がさし示す内容を、文章中の言葉を使って十字程度で書きなさい。

2 【読んだ本の一節】 中の——線部②には比喩ひゆが使われています。同じ内容を意味する比喩ひゆが使われた表現を、文章中から十五字以内で抜き出さない。

3 【読書記録ノート】 中の A には、「密閉空間」という言葉が示す内容について次の一文が書かれています。丸橋さんはメモを読み返しているときに、文のつながりが適切でないことに気づきました。この文が適切なつながりになるように——線部を書き直しなさい。

江戸時代の農民は生まれた土地を離れなかったが、村の外の情報がなかった。

問題は、次のページに続きます。

4


図書委員会では、「おすすめ読書術大公開！」キャンペーンを行うことになり、図書委員がそれぞれの読書方法について**【揭示物で紹介することになりました。丸橋さんも「読書記録ノート」の紹介を担当することになりました。】**次はその**【揭示物のイメージ】**と丸橋さんの**【紹介コラムの下書き】**です。**【紹介コラムの下書き】**を読んで、あとの問いに答えなさい。

【揭示物のイメージ】


図書委員のおすすめ読書術大公開！

1日1冊本を読む3ステップ！

- ①
- ②
- ③




1冊の本からひろげてみよう



ふせん活用術

.....
.....
.....
.....

.....
.....
.....
.....



「読書記録ノート」の楽しみ

.....	【紹介コラム】	【読書記録ノート】	【読んだ本の一節】
----------------------------------	------------------------------------	--------------------------------------	--------------------------------------

【紹介コラムの下書き】

私は本を読むとき、「読書記録ノート」を作っています。ノートには読んだ本のあらすじや感想、気に入った表現などを自由に書いています。一年生のとき、おもしろい本をいつもすすめてくれる先輩から、「読書記録ノート」を見せてもらったことがきっかけでした。先輩のノートには、読んだ本の記録や感想がたくさん書きこまれていました。とてもいいねいに本を読んでいることが伝わってきて、先輩は本当に読書を楽しんでいるのだなと感じました。

私が「読書記録ノート」をつけ始めたころは、感想を数行書くだけでしたが、続けているうちに感想だけでなく、気に入った表現など、書きたい内容がどんどん増えてきました。例えば、最近読んだ本の中で「ばかりと空いた穴」という言葉に出会いました。江戸時代、農民の村にたまに訪れる「まろうど」が、外から持ち込む情報や珍しい話をこのように表現していたのです。閉ざされた場所から突然に外の世界が見える、という感じがよく伝わる表現でした。あとでノートを読み返してみても、新鮮な驚きがよみがえってきます。文学作品発生の根源は未知のものへの好奇心にあるという説明もよく理解できました。

また、私は「読書記録ノート」をつけることで、新しい言葉や豊かな表現、登場人物の気のきいたせりふや言い回しもたくさん覚え、使えるようになりました。その結果、言葉の意味や内容をしっかり考えて本を読むようになりました。知らない言葉や疑問点を調べておくことは、少し難しい本を読みすすめるときにも大きな助けになります。

このように、気づきや発見を書き留めながら読むことで、私は読書が何倍も楽しめるようになりました。

みなさんも、読書を楽しむときに「読書記録ノート」を作ってみませんか。

(1) 【紹介コラムの下書き】にみられる丸橋さんの工夫の説明として最も適しているものを、次のア～エから一つ選びなさい。

- ア 読む人が理解しやすいように、読書記録ノートの利点について自分の経験をとおして書いている。
- イ 読む人に正確に伝わるように、複数の本からの引用を中心にして読書記録ノートについて書いている。
- ウ 読む人が読書記録ノートに親しみを持てるように、中学生がよく知っている本を取り上げて書いている。
- エ 読む人に読書記録ノートを印象づけられるように、問いかけるような文体を多用して書いている。

(2) 丸橋さんの「読書を楽しむときに読書記録ノートを作ってみませんか」という提案について、あなたの意見を次の条件に従って書きなさい。

- 条件1 読書記録ノートについて ア 作る イ 作らない のいずれかを選ぶこと。
- 条件2 条件1で選んだ立場で、意見の根拠を明らかにして六十字以上、八十字以内で書くこと。

問題は、次のページに続きます。

五

次の文章を読んで、あとの問いに答えなさい。

著作権者への配慮から掲載を控えております。

(鹿野武左衛門『鹿の巻筆』より)

1 本文中の~~~~線部を現代かなづかいに直して、すべてひらがなで書きなさい。

2 本文中の——線部①がさし示す内容について書かれた次の文の 、に入る適切な言葉を、本文中からそれぞれ抜き出しなさい。

年配の男が、訪問しようとしていた人の

も

も忘れていること。

3

本文中の——線部②について、**㉑** 誰の、**㉒** どのようなことを気の毒に思ったのですか。㉑は次の
内のア〜カから、**㉒** はあとの



内のア〜エから最も適しているものを、それぞれ一つずつ選びなさい。

ア 年ごろなる男

オ 鏡屋播磨守

イ 若き者
カ 伊賀屋の八兵衛

ウ 尋ねたき人

エ 松葉屋有介

ア 探す場所の情報さえ知らされずに、はるばる江戸まで人を探しに出されていること。
イ 手がかりをすべて忘れたのに、それでも探す人を教えてほしいと迫られていること。
ウ 訪問する人に会えないまま、二日がかりの道のりをまた帰らなければならぬこと。
エ 見ず知らずの年配の男に、人を刺すような危険な人物の家への案内を頼まれたこと。

4

本文中の——線部③の内容として適しているものを、次のア〜オから二つ選びなさい。

ア あり イ いが ウ はち エ はり オ まつば